

科 目 名				学 年
経営情報論Ⅱ： Management Information System Ⅱ				3B
教 員 名		中岡 伊織： NAKAOKA Iori		
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
1	90分×15回	履 修	講 義・後 期	-
授 業 概 要	企業の競争優位は情動的経営資源をいかに活用するかによって決まるため、適切な情報管理が求められている。そこで本講義では、企業の経営活動において、情報がどのように位置づけられ、どのように構築・管理されているのかについて取り扱う。そして講義の最後では、システムを構築するための手法論についてさらに進めていく。			
到 達 目 標			評 価 方 法	
(1)経営情報の基礎となるコンピュータ関係と経営情報システムの諸類型について理解できる。 (2)システムの開発・管理方法について理解できる (3)実際の経営情報システムを構築するにあたり必要となる手法論について理解できる。			①中間試験(40%)、②期末試験(60%)によって評価する。	
学 習・教 育 目 標		(C)	JABEE基準1(1)	-
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	経営情報論の概要	経営情報の概要とその発展	
	第2	意思決定論	個人と組織の意思決定	
	第3	組織の管理	組織の管理とデータ処理	
	第4	経営情報システム(1)	経営情報システム	
	第5	経営情報システム(2)	意思決定支援システム	
	第6	経営情報システム(3)	戦略的情報システム	
	第7	経営情報システム(4)	エンドユーザコンピューティング	
	第8	中間まとめ	中間のまとめを行い試験を実施する	
	第9	経営情報システム(5)	eコマース	
	第10	開発・管理(1)	システム設計・開発	
	第11	開発・管理(2)	システム運営・管理	
	第12	手法論(1)	知能システム	
	第13	手法論(2)	一対比較法	
	第14	手法論(3)	その他の手法	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。		
自学自習の内容				
関連科目	基礎経営学、経営情報論Ⅰ、経営管理論Ⅰ・Ⅱ			
教科書	佐原 寛二『経営情報論ガイダンス<第2版>』中央経済社、			
参考書	宮川 公男『経営情報システム』中央経済社、2004年			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。			
副担当教員				
備考				